

# 荒川太郎右衛門地区自然再生事業

---

## 試験掘削について

### < 目 次 >

1. 試験掘削地の形状	-----	2
2. 工程表	-----	3
3. 施工方法	-----	4

平成 17 年 2 月 5 日

荒 川 上 流 河 川 事 務 所

工事場所 太郎右衛門自然再生地

工事期間 自 平成17年 1月20日  
至 平成17年 3月15日

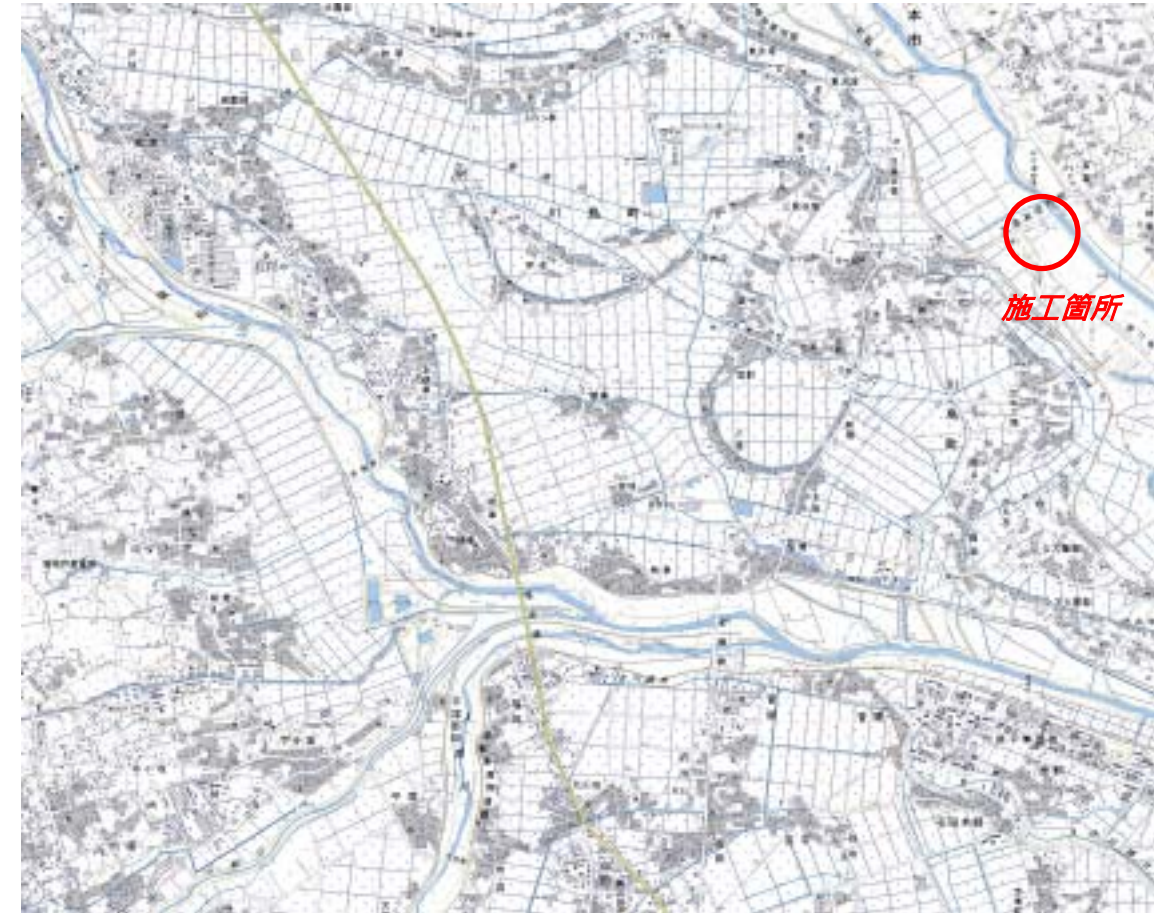
連絡先 荒川上流河川事務所 西浦和出張所  
TEL 048-861-9129

荒川上流河川事務所 工務課  
TEL 049-246-6359

荒川上流河川事務所 河川環境課  
TEL 049-220-0145

施工業者 株式会社 松永建設  
所在地 埼玉県岩槻市城南五丁目6番6号  
TEL 048-798-1945  
(株)松永建設 西区塚本作業所  
TEL 070-5582-7784

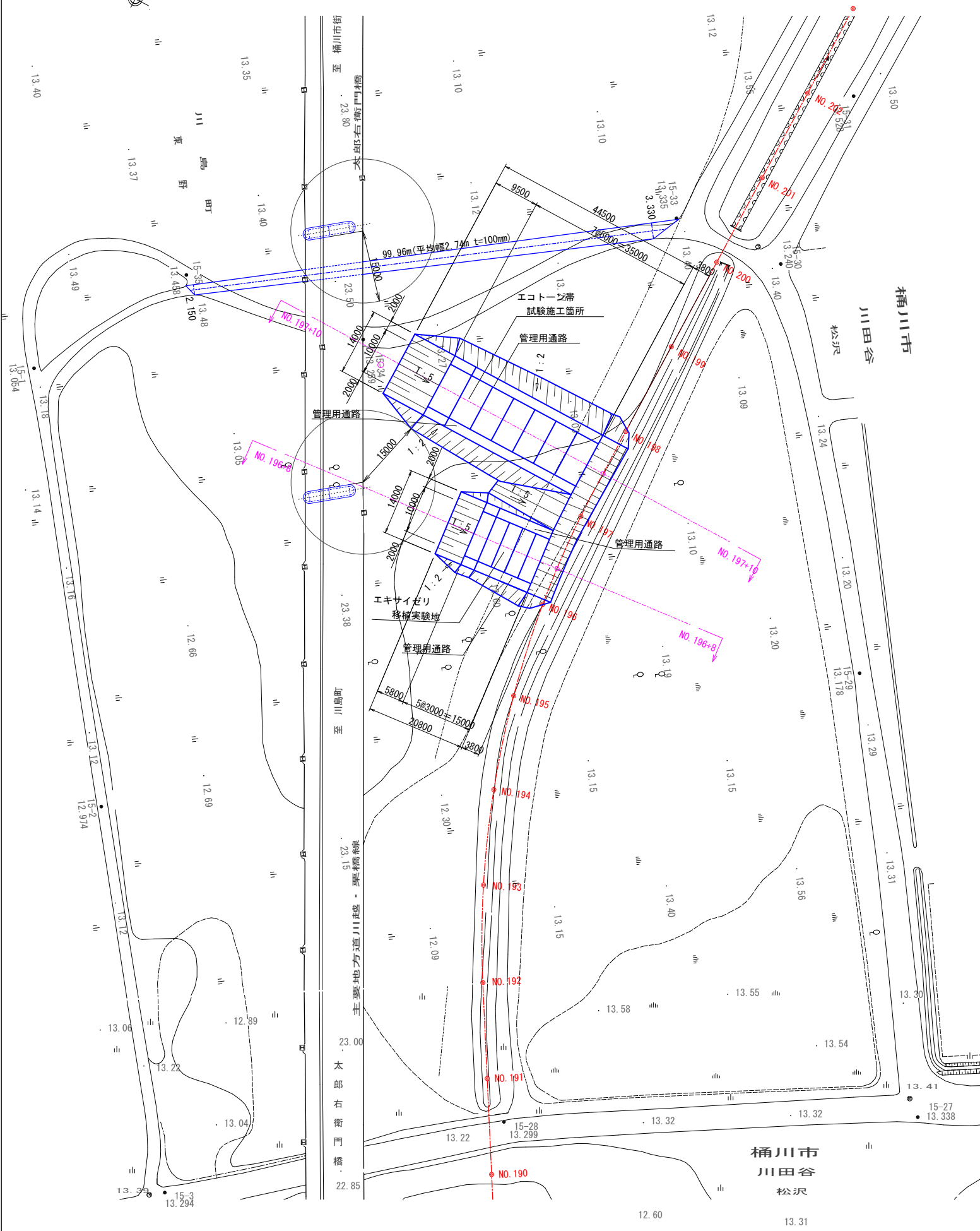
案内図



1. 試験掘削地の形状

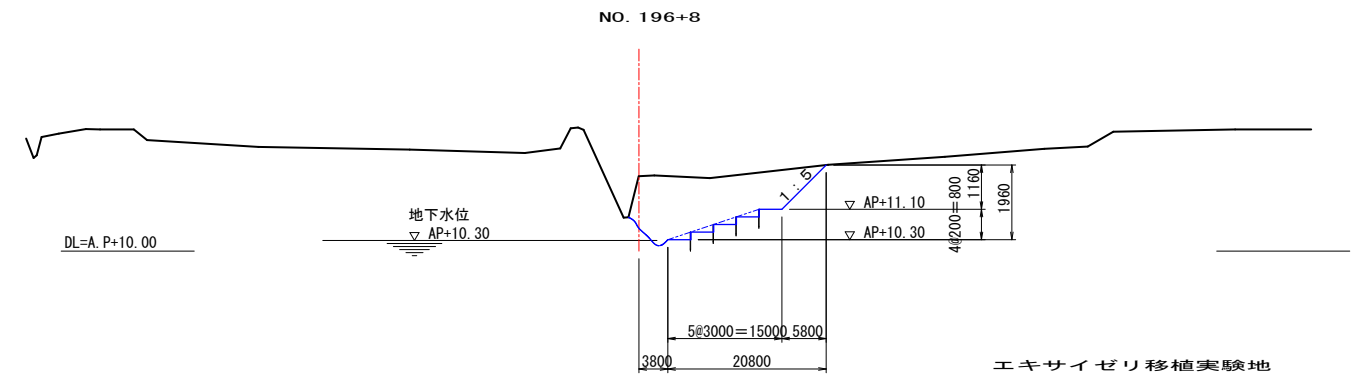
試験掘削地 平面図

S=1:1,000

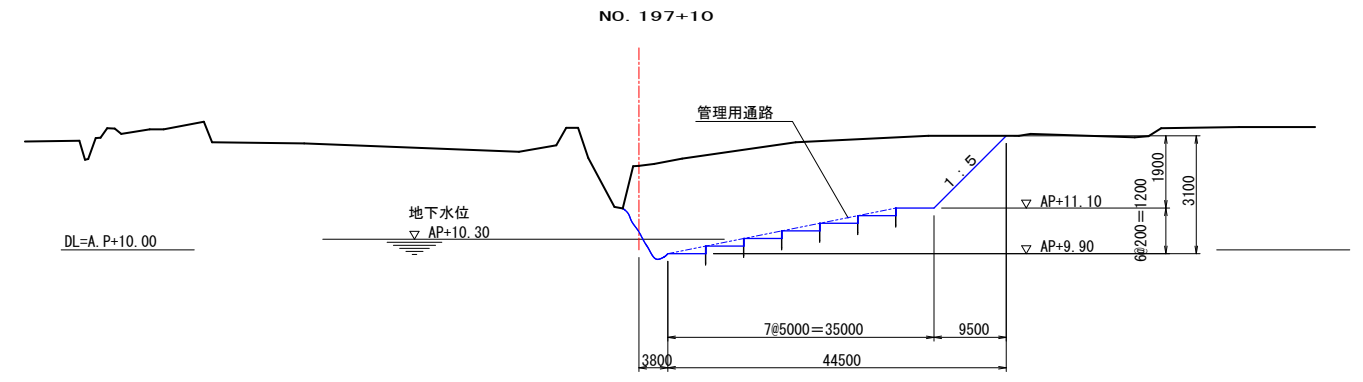


標準横断面図

縦 1:200  
横 1:1,000



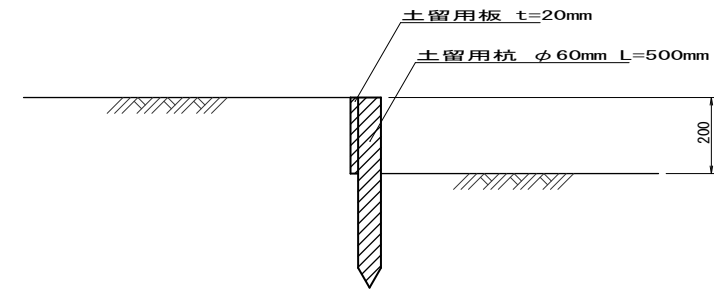
エキサイゼリ移植実験地



エコトーン溝試験施工箇所

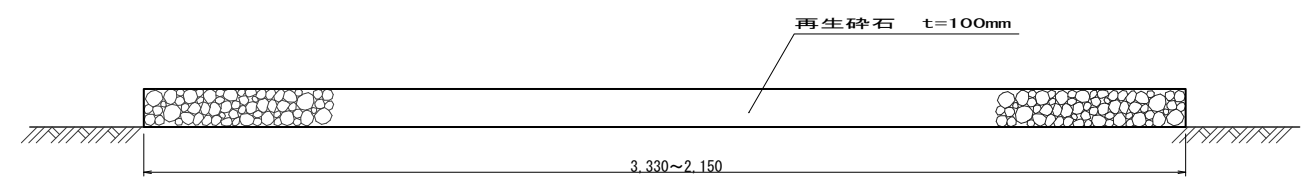
段差部 詳細図

S=1:20



碎石道 詳細図

S=1:20



2. 工程表

荒川太郎右衛門地区自然再生事業 試験掘削

工種	数量	単位	1月																												2月																												3月										
			7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11																															
準備工	1	式	現地確認、現況測量										草刈り										測量										仮囲い設置										仮囲い撤去																										
仮設工	砕石敷均	270	m2	■																																																																	
	敷鉄板設置・撤去	1	式	■															■																																																		
	水替工	1	式	■																		■																																															
河川土工	木柵設置	190	m	■																																																																	
河川土工	掘削・運搬	2260	m3	■																																																																	
	土留め工	200	m	■																											■																																						
	表面処理	500	m2	■																												■																																					
第9回協議会(位置、範囲の確認)			■																																																																		

主な使用機械

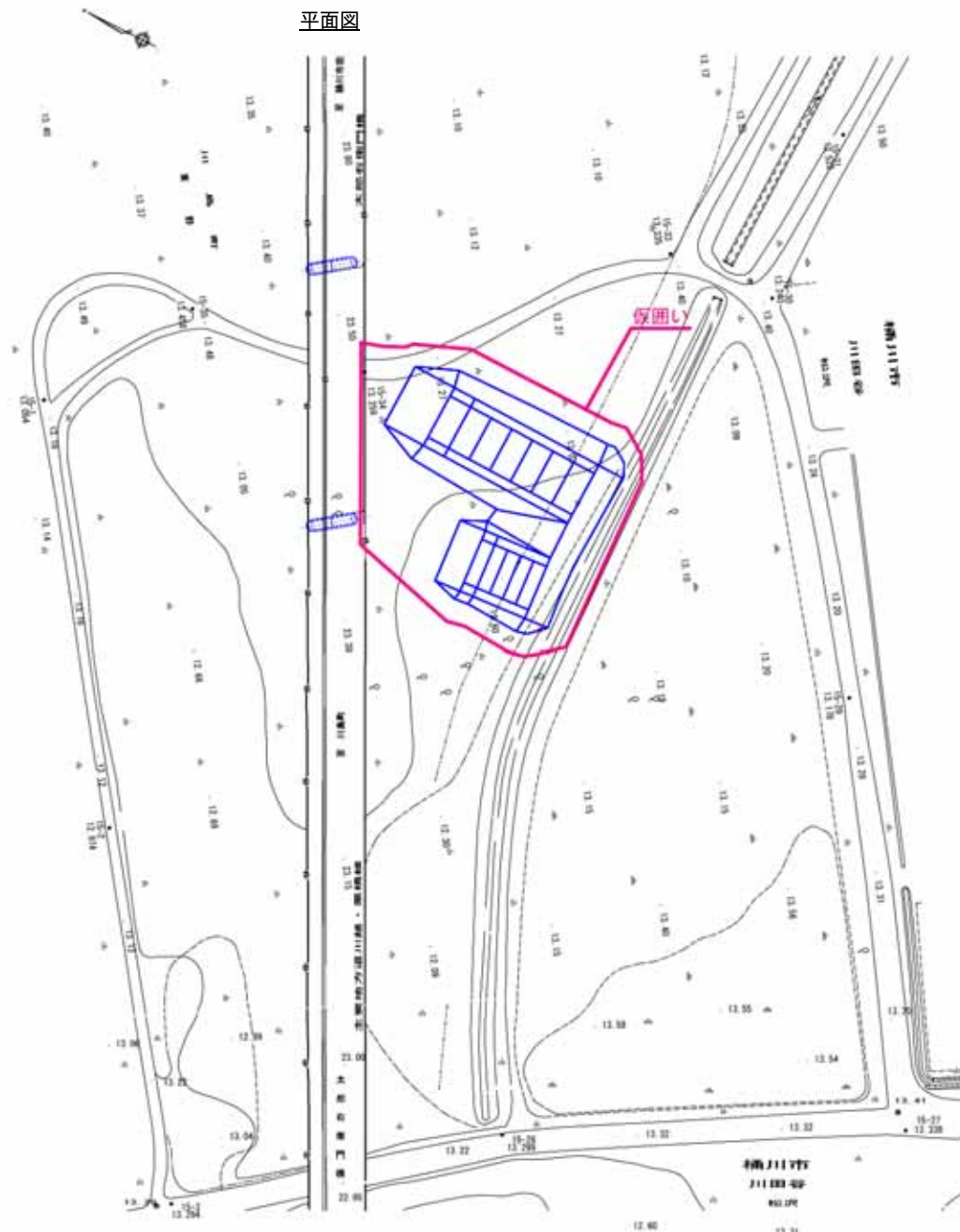
工種	機械名	規格	台数	備考
水替工	発電機	20KVA	1台	排出ガス対策型建設機械 低騒音型建設機械
	ポンプ	3インチ 2インチ	各1台	
掘削工	バックホウ	0.8m3	1台	排出ガス対策型建設機械 低騒音型建設機械
	ダンプトラック	10t	10台日	

### 3. 施工方法

#### 3-1. 準備工

現地調査、測量及び草刈りは既に終了しております。

今後、仮囲いの設置を行います。



パイプピッチ 3m、H=90cm

#### 3-2. 仮設工

現況の道路機能を維持するため、砕石の敷均しを行います。

また、掘削予定箇所には運搬車両走行用の鉄板を敷きます。

水路については緑丸印の所に土のうを積み、水をせき止め、ポンプにより、荒川とは逆方向に排水します。

なお、施工後仮囲いを撤去して、進入防止のための木柵を設置します。



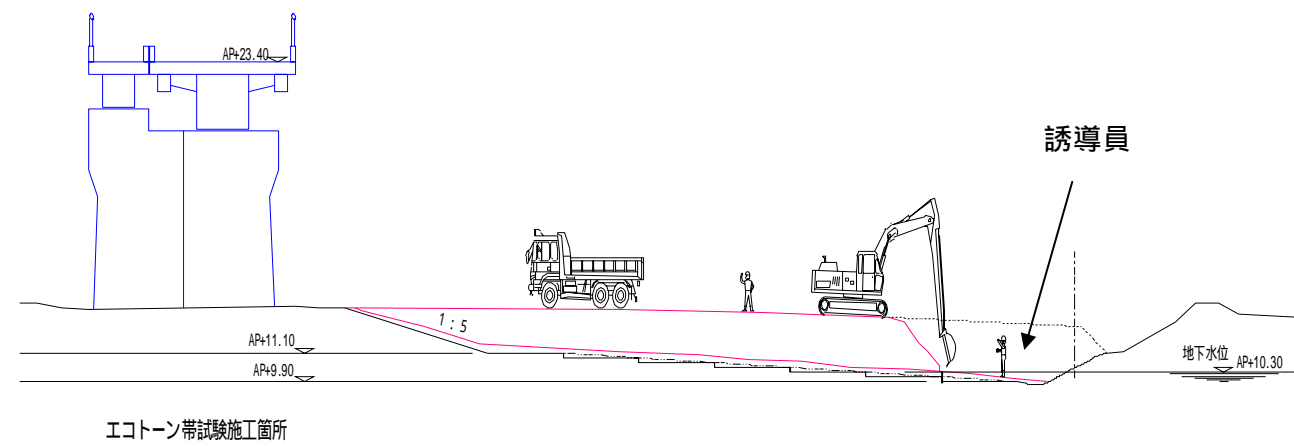
木柵イメージ

### 3-3.河川土工

#### 1)掘削運搬

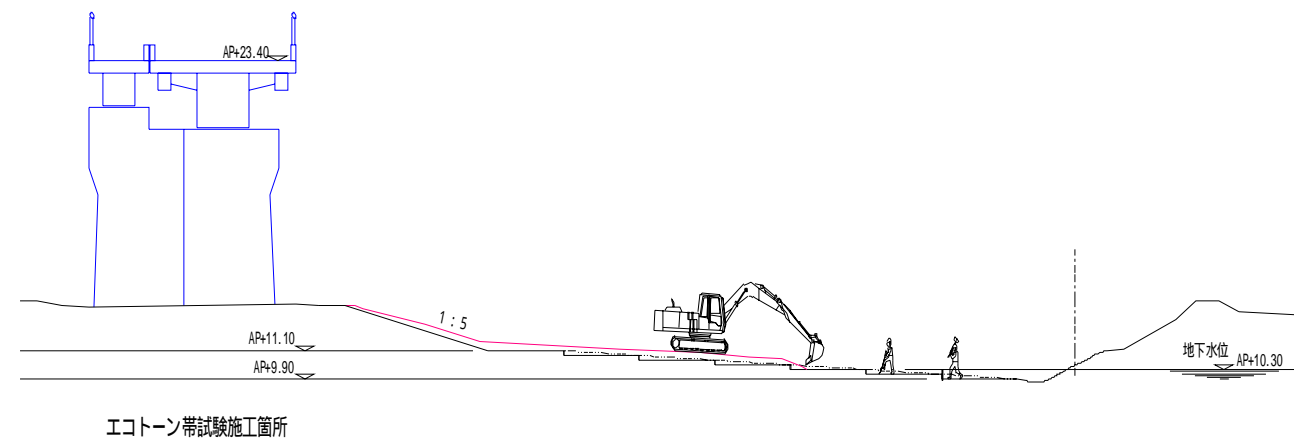
バックホウ 0.8m<sup>3</sup>級により、下図のように粗掘りし、運搬車両(ダンプトラック)に積み込み、場外に搬出します。

この時、誘導員により、掘削土を目視し、土質確認を行ないます。又、土に異常が確認された場合は、直ちに作業を中止し、監督員に報告を行ない指示を仰ぎます。



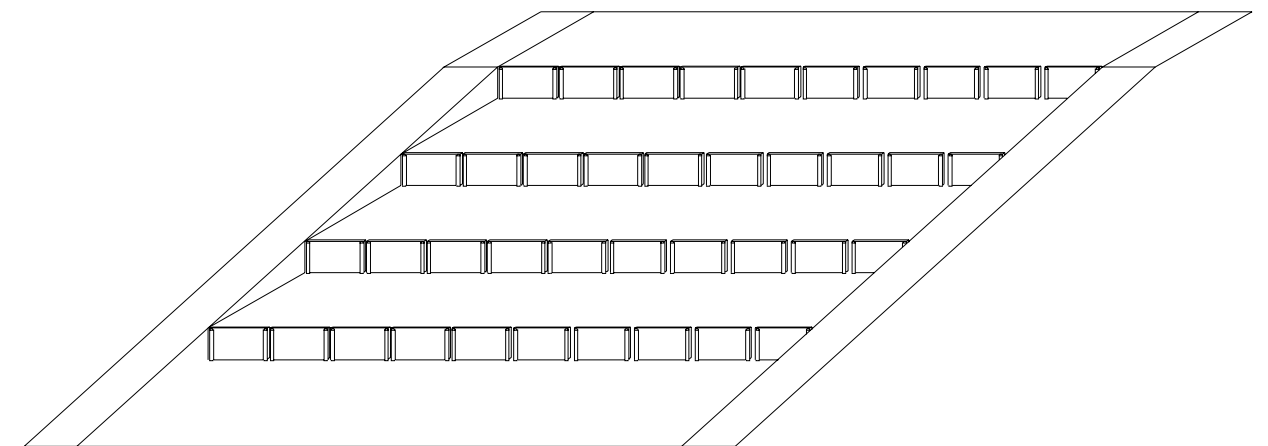
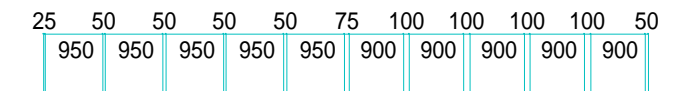
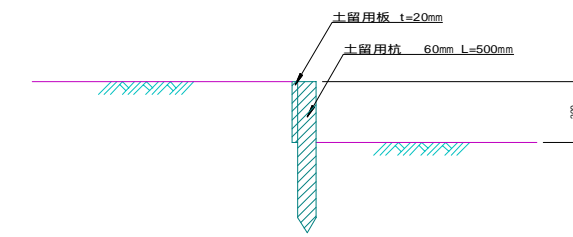
#### 2)土留工

粗掘り終了後、仕上げを人力併用で行ないます。又仕上げ完了段から人力により土留めを設置します。



土留は下図のようになります。

段差部 詳細図



#### 3)表面処理について

土の締固め状態の違いによる植生回復状況を比較するため、地表条件を以下の2通りに設定します。

- 地盤を 10cm の深さで耕うん
- 地盤を施工状態のままとする (耕うんしない)

